

## 発生事件の一覧

平成23年9月2日現在

| 発生日付       | 事件区分 | 発生場所   | 概 要  |
|------------|------|--------|--|
| 平成23年8月22日 | 不審電話 | 山口市    | <p>平成23年8月22日から23日にかけて、山口市保険年金課に市民の方より7件程度の不審電話の相談があった。内容はほぼ類似しており、市医療保険課職員を名乗り、「5年間の医療費4万数千円を返すのでフリーダイヤル0120-934-2xxに電話をかけて欲しい。近所に金融機関はあるか。」などといったもの。今のところ実際の被害は出ていないもよう。</p>   |
| 平成23年8月5日  | 不審電話 | 萩市     | <p>萩市の被保険者より「県庁職員を名乗る者から、後期高齢者の年金3万5千円を返すので通帳を見せてほしいとの電話があったが、既に年金をもらっているのにそのようなことがあるのか。」という相談が萩市市民課に寄せられた。「郵便物を送ったが見たか」から始まり、本人の通帳の色や「近くに親族がいるか」など、直接関係の無い細かいことまで聞かれたので被保険者本人も不審に思い、「では山口までタクシーで伺う」と答えると「タクシー代が高額になる」など何度も言い、来るのを拒み、「長門、美祢の辺を回っているの自宅まで伺う」と言った。電話を切り、その後本日(8月5日)に至るも連絡はないとのことだった。</p> <p>同課担当者は、年金にそのような制度はなく、後期高齢者医療制度についても確認したが医療費の還付は発生していなかったため、医療、年金から還付するものはないので、詐欺など怪しい電話の可能性が高いこと、怪しい電話がまたかかってきたときは、電話をかけてきた相手をよく聞きメモするなど覚えておくこと、絶対に即答せずに一旦電話を切り、警察や市役所に相談するように伝えた。</p> <p>なお、相談後、防災メールで同日萩市内において、類似した事件で実際に金を騙し取られる被害( )が発生したことを知り、同課担当者より萩警察署生活安全課に報告した。</p> <p>( )8月4日萩市内で「医療費の振込金があるのでカードの暗証番号を教えてほしい。後ほど職員が訪問する。」と電話があり、犯人にキャッシュカードを騙し取られ、現金149万円を引き出される事件が発生。</p> |
| 平成23年8月2日  | 不審電話 | 山陽小野田市 | <p>平成23年8月2日、11時50分に「大阪の社会保険庁」と名乗る男から高齢者宅に電話があった。「年金に上乗せの還付金(月々47000円)があって、5月15日までに返事が必要だったが、まだ返事がない。書類は届いたか。」と聞かれたので、「そのような大切なものならすぐ確認するはず。来ていない。再発行はしないのか。」と尋ねると、回答は、はっきりせず、うやむやにされた。「還付金を口座振り込みするので、預貯金がある金融機関を教えてほしい。」「キャッシュカード、通帳を6日間あずからせてほしい。」などと言われ、話が長くなり、切ろうとしてもなかなか切らしてもらえず、切ってもまたすぐにかかってくるという状況で、7~8回かかってきた。通算で2時間40分話した。</p> <p>その後、「市に派遣要員が来ている。5、6分でそちらに向かわせる。家の場所の目印などを教えてほしい。」と言われ、自宅の場所を説明した。まもなく、ひとりの男が来た。名札をつけ、黒の上下(背広ではない)で五分刈り、若く体格がよく、やくざ風であった。男が来ている間も、相手の都合で電話は繋ぎっぱなしであった。電話は長かったが、男の滞在は5分、高齢者が「断ります」のひとことで帰って行った。そのことを、つなぎっぱなしだった電話に伝えると、電話は切れた。</p> <p>相談者の通院の都合で、翌々日、警察に通報。警察が来て、事情を聴き、指紋を採取した。</p>  |

## 発生事件の一覧

| 発生日付       | 事件区分 | 発生場所   | 概要  |
|------------|------|--------|---|
| 平成23年7月下旬  | 不審電話 | 山陽小野田市 | <p>7月27日か28日、昼頃、市後期高齢者医療担当課員を名乗る男性（実在せず。）から高齢者宅に電話があり「3月にピンクの封筒がなかったか、年間4万円が入金される手続きをしなければならぬ。」と言われた。</p> <p>口座の金融機関名と支店名、残高の桁数や定期預金が100万円あるか、キャッシュカードの色などを尋ねられ、「書類が届いてなければまた送る。」と言って電話が切れた。</p> <p>市の担当者から電話したことはなく、悪質業者である可能性が高い。安易に個人情報を伝えないこと。再度電話があったり、郵便物が届いたら消費生活相談センターに電話することを伝えた。</p>  |
| 平成23年7月初旬  | 不審電話 | 山陽小野田市 | <p>山陽小野田市の被保険者宅に男性から「後期高齢者医療の被保険者になると年に一回40,000円が支給される。ついては、振込先の口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。不審に思った被保険者は、何も教えずに電話を切り、山陽小野田市国保年金課に相談した。同課担当者は、その様に現金が支給されることはなく、不審な電話があった際には、応ずることなく山陽小野田市又は広域連合へ連絡いただくように伝えた。</p>   |
| 平成23年6月14日 | 不審電話 | 山陽小野田市 | <p>平成23年6月14日午後3時30分、高齢者宅に「保険特定医療制度が変更され、お金を相談者宛に振り込んだが連絡がないので確認の電話をした。」との電話があった。本人は聞いたこともないし、また振り込まれた覚えもないので、「市ですか、国民健康保険ですか。」と尋ねたところ「そのようなものです。」と言われたため、「折り返し電話するので連絡先を教えてください。」と聞くと、電話番号を教えられた。よくわからない番号だったので「市役所ですね。市役所に電話します。」と伝え、「市役所ではない。公共機関ではない。」と言って電話を切られた。</p> <p>その後、平成23年8月2日午前、「社会保険庁」と名乗るところから「3月に保険特別医療費のことでピンクの封筒を送ったが返事がない。」との電話があった。前回の電話の件をセンターに相談した旨を伝え、「心当たりがない。」と答え、「また送る。」と言って電話が切れた。電話の切り方が尋常ではなく、あらためて送ってくるのかどうかは分からない。相手は電話番号を聞いても教えてくれず、着信番号も表示されない。</p> <p>当面、放置しておき、再度の電話や郵便物があった場合には改めて相談するよう伝えた。</p> |

## 発生事件の一覧

| 発生日付       | 事件区分       | 発生場所 | 概要   |
|------------|------------|------|--|
| 平成23年2月9日  | 不審電話       | 岩国市  | 12時40分頃、岩国市の被保険者宅に厚生労働省職員を名乗る男から「昨年、高齢者の医療費を払い戻すことが決まった。新聞・テレビなどで見ていないか。47,000円の払い戻しがある。青い封筒で連絡したが返事がないので連絡した。」と電話があった。相手は被保険者の氏名を知っており、被保険者の生年月日を尋ね、「振込先口座番号を電話で聞くわけにはいかないの、取引金融機関名と口座残高の桁数を教えてくれ。」と言い、被保険者が教えたところ、「確認して連絡する。」と一旦、電話が切れた。その後、「金融機関に確認した。3月に書類を送って、振込する。」と再度、電話がかかった。不審に思った被保険者は、岩国市保険年金課を訪れ、相談された。同課担当者は、岩国市及び広域連合より電話した事実はなく、万が一、不審な送付物があった際には、岩国市へ相談いただくように伝えた。 |
| 平成23年2月9日  | 不審電話       | 岩国市  | 12時頃、岩国市の高齢者宅に後期高齢者医療関係者を名乗る男性から「47,000円の還付金（記憶が曖昧）が発生している」と電話があり、電話を受けた高齢者がよくわからないと伝えると、相手は「13時頃再度電話する」と言って電話を切った。13時を過ぎてても電話がかかってこないため、不審に思った高齢者が岩国市保険年金課に連絡した。同課担当者、国市及び広域連合より電話した事実はなく、不審な電話があった際には、応ずることなく岩国市又は広域連合へ連絡いただくように伝えた。   |
| 平成23年1月28日 | 不審電話       | 防府市  | 防府市の高齢者に「医療費の還付金42,000円があるので口座番号を教えて欲しい。キャッシュカードを持っているか。通帳の残高の下一桁を教えて欲しい。後日改めて通知する。」などと電話があった。電話を受けた高齢者は、不審に思い、また、直近に送付された公的年金の源泉徴収票との関連について気にかかり、防府市保険年金課を訪れた。同課担当者は、そのような事実はないことを伝えた。  |
| 平成23年1月25日 | 医療費還付金詐欺事件 | 防府市  | 午後1時半ごろ、高齢者宅に厚生労働省を名乗る男から「医療費の払戻しがある。手続きのためカードを取りに行かせる。」と電話があった。約30分後に40歳ぐらいのスーツ姿の男が女性宅を訪れたため、女性は銀行のキャッシュカードを渡し、暗証番号も伝えた。<br>午後2時ごろ、同市内のATMから現金約200万円が引き出された。警察が詐欺事件として操作を開始した。  |
| 平成23年1月25日 | 不審電話       | 周南市  | 周南市の高齢者に山口県後期高齢者医療広域連合の職員を騙る男性から「高額療養費とは別の医療費還付金があるので口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。電話を受けた高齢者は不審に思い、山口県後期高齢者医療広域連合事務局に確認の電話をかけてこられたので、同事務局担当者よりそのような事実はないことを伝えた。<br>類似事件防止のため、警察への通報を同事務局担当者より被保険者へ促した。  |

## 発生事件の一覧

| 発生日付        | 事件区分         | 発生場所 | 概要   |
|-------------|--------------|------|--|
| 平成23年1月24日  | 不審電話         | 防府市  | <p>防府市の高齢者に2件の不審電話があった。</p> <p>厚生労働省の職員を騙る男性から「医療費の還付金があるので口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。同高齢者には、昨年も同様な不審電話があった。</p> <p>厚生労働省社会年金課の職員を名乗る男性から「特別医療補助給付金42,000円を支払うので、口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。</p> <p>電話を受けた高齢者は、いずれも不審に思い、防府市保険年金課に確認の電話をかけ、同課担当者よりそのような事実はないことを確認した。</p> <p>類似事件防止のため、警察への通報を防府市保険年金課より被保険者へ促した。</p> |
| 平成22年11月9日  | 不審電話         | 宇部市  | <p>9時40分頃、広域連合職員を名乗り、「3万円くらいの医療給付金を返します。」との電話があった。不審に思った被保険者は、山口県後期高齢者医療広域連合へ電話にて事実の有無を確認した。同広域連合職員の確認により、事実のない事を被保険者に伝えた。8日、同市内では、還付金詐欺とみられる年金機構の職員を名乗った不審電話が5件あった。</p>   |
| 平成22年10月28日 | 不審電話         | 宇部市  | <p>14時50分頃、厚生労働省の職員を騙る男性から「低所得者を対象とした特別医療制度により、47,500円の振込みがあります。4月に申請書を送っています。振込みのために口座番号を教えてください。」と宇部市の高齢者宅に電話があった。電話を受けた高齢者は不審に思い、「口座はない。」と伝えると、「書類を送るので、口座を開設してくれ。」と言われた。内容が怪しいと思った高齢者は、宇部市保険年金課に確認の電話をかけ、同課担当者よりそのような事実はないことを確認した。また、担当者からの警察への届出の勧めにも、対応の意向を示した。</p>                                |
| 平成22年10月26日 | 不審電話         | 萩市   | <p>午前10時半ごろ、萩市内の高齢者宅に男性の声で「医療保険料の払戻金がある。振り込むので口座番号と残高を教えて。」と電話があった。不審に思った高齢者が家族に相談、警察に通報した。</p> <p>22日にも同市内で同様の不審電話が2件あり、警戒を呼びかけている。</p>   |
| 平成22年6月5日   | 被保険者証更新に係る詐欺 | 宇部市  | <p>市役所職員を名乗り高齢者宅を訪問し、「市役所から来ました。保険証を更新するのにお金がかかります。保険証は、後日届きます。」と言って管内の被保険者よりお金をだまし取る事件が発生した。後日、「職員が保険証の更新で被保険者の自宅を訪問することがあるのか。」という家族からの問合せにより事件が発覚した。</p> <p>また、被保険者本人には、被害届の提出の意思はない。</p>  |